

V 試験・成績について

■ 1. 試験の方法

- ①試験は、筆記、レポートの提出、作品の提出などにより行います。なお、科目によっては、平常の学業成績をもって代えることがあります。
- ②試験の方法については学務課掲示板にて発表します。
- ③筆記試験は試験期間に実施します。
- ④時間は原則として60分とします。試験時間は下記のとおりであり、通常の授業時間とは異なるので注意してください。

第1時限 9:10～10:10

第2時限 10:50～11:50

第3時限 13:10～14:10

第4時限 14:50～15:50

第5時限 16:30～17:30

■ 2. 受験の資格

次に該当する者は受験資格がありません。

- ①学費の未納者。ただし、延納願を提出し、認められた者を除きます。
- ②履修登録をしていない者。
- ③出席が全授業回数の3分の2に満たない者。

■ 3. 筆記試験に関する注意事項

- ①受験に際しては、試験監督の指示に従ってください。
- ②試験開始後30分以内の遅刻者には受験を許可しますが、時間延長は認められません。
- ③退室は試験開始後30分から認めます。
- ④不正行為が明白となった場合、その学生のその科目の試験は無効となり、再試験は認められません。
- ⑤試験中は学生証を机の上に提示してください。学生証を忘れた場合は試験開始前に学務課にて仮学生証の交付を受けてください。

■ 4. 追試験

①該当者

試験当日にやむを得ない事由で受験できず、追試験を願い出た者が承認された場合、追試験を行います。時間割の見間違い等本人の不注意によるものは対象となりません。

②手続期間

追試験を願い出るときには、当該科目の試験終了後1週間以内に、追試験受験願に欠席理由の証明書（医師の診断書等）を添付して学務課に提出しなければなりません。

③追試験料

追試験を受験する場合、原則として追試験料2,000円を納入しなければなりません。

④日程等

追試験の日程等についてはその都度掲示します。また当日欠席した場合は、不合格となります。

■ 5. 再試験

① 該当者

試験の結果、合格点にいたらず、担当教員の指示があった場合、再試験を行います。

② 再試験料

再試験を受験する場合、再試験料 2,000 円を納入しなければなりません。

③ 日程等

再試験の日程等についてはその都度掲示します。

■ 6. 成績の評価

① 成績の評価は、100 点を満点とし、90 点以上を AA、89～80 点を A、79～70 点を B、69～60 点を C、59 点以下を D とし、D は不合格とします。

ただし、「ボランティア講座」については、合格または不合格の成績評価となります。

② 学業成績は試験の成績、平素の学修状況等を総合して、科目担当教員が評価します。担当教員による成績評価の方法については「授業概要」を参照してください。

③ 追試験の成績評価は、原則として得点の 80% とします。

④ 再試験に合格した場合の成績評価は、すべて 60 点とします。

■ 7. 成績の通知

成績の通知は、成績通知書を前期については 9 月上旬に保証人（保護者）宛に送付します。後期については 4 年次は卒業時に手渡し、1～3 年次は 3 月中旬に保証人（保護者）宛に送付します。なお、1 人暮らしの学生に対しては学生宛にも送付します。

■ 8. 不合格・追試・再試験該当者の発表

① 試験の結果、合格とならなかった場合、不合格または追試・再試験該当者として学籍番号が学務課掲示板にて発表されます。

② 発表された試験の結果に関する問い合わせは、上記発表後 2 週間以内に限り、学務課で受け付けます。

③ 必修科目・選択必修科目が不合格となった場合は、再度登録して再履修する必要があります。

* その他試験・成績については「履修規程」、「試験に関する規程」を参照してください。

■ 9. GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度

① グレードポイントは成績評価が AA は 4 点、A は 3 点、B は 2 点、C は 1 点及び D は 0 点とします。

② 卒業要件に該当する授業科目の総単位数にグレードポイントを掛けた点の総点を当該科目の総単位数で除し、算出した平均点が 2.0 未満の学生に対しては、個別に指導をすることがあります。

③ GPA が 2 期連続して 3.7 以上の学生は、1 年間に登録できる制限単位数を超えて履修登録が認められます。